

新年明けまして

おめでどうございませす



城里町長
上遠野 修

新年明けましておめでどうございませす。旧年中は、皆さまからの力強いご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスが猛威を振るった昨年は、外出の自粛やイベントの開催制限など、今までの暮らしを大きく変える年となりました。城里町では、公共施設の入口で検温、消毒、マスクの着用を呼びかけるなど、感染防止対策に万全を期しています。

昨年春には、国の経済対策として、全国民に1人10万円の給付が行われました。城里町は、5月中旬に約90%の町民の皆さまに給付を済ませ、茨城県内トップクラスの早さと給付率を達成しました。今後も国の施策に対し、素早く対応して参りますので、引き続きのご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染症への対策として、社会のデジタル化が加速しています。今年の4月には、町の児童生徒に1人1台のタブレット端末が用意されます。さらに、同じ4月には、マイナンバーカードを利用して、住民票などをコンビニエンスストアで取得できるようになります。長年の課題にも目途がつかました。

防災無線の更新により、屋外放送の品質が向上するのに加え、屋内でも放送が聞けるよう、戸別受信機も全戸配布します。録音機能搭載で、聞き逃した放送を後で聞くこともできますので、受信機のお受け取りにご協力ください(詳細4頁)。

また、保留されていた七会町民センター「アツマール」へのスポーツ振興くじ助成金(約4千万円)が、昨年末に交付されました。天然芝グラウンドの利用を地域住民に推進してきた町の努力にご理解をいただいた、独立行政法人日本スポーツ振興センター様には深く感謝を申し上げます。町民の皆さまにご報告いたします。結びに、新しい年が幸せの多い年でありませうご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

新春のお慶びを

申し上げます



城里町議会議長
関 誠 一 郎

新年明けましておめでどうございませす。皆さまにおかれましては、輝かしい新年を迎え、健やかに過ごされたことと心からお喜び申し上げます。

年頭に当たり城里町議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

私は昨年6月の第2回定例会において、第8代城里町議会議長に推挙され無事初めての新年を迎えることが出来ました。

これもひとえに城里町民の皆さまのおかげであると、深く感謝申し上げます。

さて、昨年から世界中で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るってあります。

このコロナウイルスの厄介なとこ

ろは、無症状・軽症の感染者が全体の8割程度いるとされており、そうした無症状者からも感染することや、高い重症化率・致死率をもっていること。そして、糖尿病等の基礎疾患をもつ人や高齢者の重症化や致死率が高く、若年層でも重症化し死亡例があると、すべての人が感染予防をしなければならぬということです。

今後、このコロナ禍を乗り切るためには、今までとまったく違った行動様式で生活していかなくてはなりません。

人との接し方、日常生活、仕事の仕方等々、今までの常識をまったく変えていかなければなりません。

私たち議会も、この新しい生活様式を皆さまと共に模索しながらも町の発展に向け鋭意努力して参りますので、どうぞ町民の皆さまの変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

町民の皆さまにとりまして、本年もご健勝で明るく、幸せに満ちあふれた実り多き年となりますことを心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。